

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : コサイド®3000

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com
FAX番号 : 03-3519-3370

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

使用上の制限 : 上記の特定用途以外には製品を使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 4

急性毒性 (吸入) : 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2B

発がん性 : 区分 1A

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

コサイド®3000

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080000780 初回作成日: 2023/03/17

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 + H332 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害。
H320 眼刺激。
H350 発がんのおそれ。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P261 粉じんの吸入を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

コサイド®3000

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080000780 初回作成日: 2023/03/17

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
水酸化第二銅	20427-59-2	46.1	1-293
Polyacrylic acid	9003-01-4	21	6-898
石英	14808-60-7	>= 1 - < 3	1-548

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼と水で皮膚を徹底的に洗う。
直ちに汚染された衣服を脱がせる。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 眼に入った場合 : 目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。
コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その
後も洗浄を続けること。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。
毒物管理センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐
を誘引しない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 発赤を引き起こす可能性がある。

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

医師に対する特別な注意事項 : 粘膜損傷の可能性がある場合、胃洗浄は禁忌である。
症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
泡を使用するとかなりの量の水素ガスが放出されるが、泡で覆い閉じ込めることができる。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 特有の消火方法 : 消火剤を容器の内容物に接触させない。ほとんどの消火剤は水素の発生を引き起こし、消火すると、換気の悪い場所や密閉された場所に蓄積し、発火した場合、フラッシュ火災や爆発を引き起こす可能性がある。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。
保護具を使用する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

12 の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
皮膚や眼への接触を避けること。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸

衛生対策 : 取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。
物質が内部に入った場合、衣服/PPE(個人用保護具)を直ちに脱ぐ。
十分に洗い、清潔な衣服を着用する。
この製品の取り扱い後は速やかに保護具を取り外す。

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

コサイド®3000

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080000780 初回作成日: 2023/03/17

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
Bentonite	1302-78-9	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
石英	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.				
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH

設備対策 : 十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

備考 : 保護手袋

眼の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。

保護対策 : この製品によりひどく汚染または濡れた衣服および他の吸収剤を廃棄する。これらは再使用しない。
製造者の個人保護具 (PPE) のクリーニング/メンテナンスの指示に従うこと。もしそのような洗浄に関する指示が存在しない場合、洗剤と湯を使用すること。他の洗濯物と分けて個人保護具 (PPE) を洗うこと。
この製品を使用するとき、製品の最終使用者は保護措置に関するラベルの指示に従わなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体, 粒状

色 : 暗い, 青緑

臭い : 銅特有の臭い

臭いのしきい(閾)値 : 不定

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

融点/凝固点	: データなし
沸点/沸騰範囲	: 非該当
可燃性 (固体、気体)	: 燃焼が持続しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
pH	: 7.5 - 9.5
かさ密度	: 529 - 705 kg/m ³
自然発火点	: データなし
溶解度	
水溶性	: 分散性
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: 非該当
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	
比重	: 0.712
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: 非爆発性
粒子特性	
粒子サイズ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物には、微量の銅酸化物が含まれることがある。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 1,847 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 2.08 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん
アセスメント: 成分/混合物は短時間の吸引後若干有毒。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

成分:**水酸化第二銅:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オス): 878 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

LD50 (ラット, メス): 657 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): 0.451 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

Polyacrylic acid:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 10,250 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): 30,000 mg/kg

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

皮膚腐食性/刺激性

製品:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激なし

成分:**石英:**

結果	:	皮膚刺激なし
----	---	--------

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

種	:	ウサギ
結果	:	軽度の眼刺激

成分:**水酸化第二銅:**

結果	:	腐食性
----	---	-----

石英:

結果	:	眼への刺激なし
----	---	---------

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

種	:	モルモット
アセスメント	:	動物実験では感作性なし。

成分:**水酸化第二銅:**

備考	:	モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。
----	---	-----------------------------

備考	:	呼吸器感作性: 関連のあるデータは得られていない。
----	---	------------------------------

生殖細胞変異原性

成分:**水酸化第二銅:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント	:	In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。
-------------------	---	---------------------------

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

ント

動物遺伝毒性試験は陰性だった。

石英:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

発がん性**成分:****水酸化第二銅:**

発がん性 - アセスメント : 動物実験では発がん性への影響は見られなかった。

石英:

発がん性 - アセスメント : 人間の発癌性物質。

ヒトで発がん性を示した。、実験動物で発がん性が認められた。

生殖毒性**成分:****水酸化第二銅:**生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。**石英:**

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

成分:**水酸化第二銅:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

石英:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**製品:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（反復ばく露）としては未分類。

成分:**石英:**

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 肺
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

反復投与毒性**成分:****水酸化第二銅:**

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている :
肝臓。
肺。
腎臓

Polyacrylic acid:

備考 : 関連のあるデータは得られていない。

石英:

備考 : ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている :
腎臓。
結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

誤えん有害性**製品:**

物性上、誤えん有害性は低い。

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

成分:**水酸化第二銅:**

物性上、誤えん有害性は低い。

Polyacrylic acid:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

石英:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.24 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 製品として。

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.118 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 0.00939 mg/l
曝露時間: 72 h

成分:**水酸化第二銅:**

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.0384 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna): 0.026 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
方法: 方法不特定。

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.047 mg/l
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期 (慢性))

コサイド®3000

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080000780 初回作成日: 2023/03/17

石英:

魚毒性

: 備考: 類似物質の情報による:
物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 > 100 mg/L)。

LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 508 mg/l

曝露時間: 96 h

備考: 類似物質の情報による:

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 731 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

備考: 類似物質について

残留性・分解性**成分:****水酸化第二銅:**

生分解性

: 結果: 分解性なし
備考: 明らかな生分解性はないと考えられる。

石英:

生分解性

: 備考: 生分解は適用不可。

生体蓄積性**成分:****水酸化第二銅:**

生体蓄積性

: 生物濃縮因子 (BCF) : 3.16

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.87

(log 値)

備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

Polyacrylic acid:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし。

(log 値)

石英:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可。

(log 値)

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

土壌中の移動性

成分:

水酸化第二銅:

環境中の分布 : Koc: 21.73
備考: 土壌中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。

Polyacrylic acid:

環境中の分布 : 備考: データなし。

石英:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

成分:

水酸化第二銅:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

Polyacrylic acid:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

石英:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

水酸化第二銅:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

Polyacrylic acid:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

石英:

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を定める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.
(copper hydroxide)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s.
(copper hydroxide)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 956
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 956

コサイド®3000

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080000780 初回作成日: 2023/03/17

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (copper hydroxide)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当
備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	番号	含有量 (%)
銅及びその化合物	379	>=40 - <50
結晶質シリカ	165 の 2	>=1 - <3

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	番号
銅及びその化合物	379
結晶質シリカ	165 の 2

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023年3月31日まで

非該当

2023年4月1日から

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
アクリル酸重合体	565	21

農薬取締法

16. その他の情報

詳細情報

その他の情報 : ラベルに記載された使用説明に注意する。
日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国内

コサイド®3000

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080000780	初回作成日: 2023/03/17

家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA